

毛無山山行報告

行程：2022年12月4日

登山口駐車場 7:45 ⇒不動の滝見晴台 8:35 ⇒地蔵峠分岐 11:05 ⇒毛無山 11:15
⇒大見岳 11:35~40 ⇒昼休憩 12:00~25 ⇒12:30 毛無山 ⇒地蔵峠分岐 12:40
⇒駐車場 14:35

参加者：M、H、T、K 泉、K、M 島(記)

天候：晴天

標高：毛無山 (1946m)

標高差：1078m(駐車場～毛無山)

昨日の富士山北側・十二ヶ岳に続き本日は富士山西側の毛無山である。

昨晩は西湖北側の自由キャンプ場でテント泊、朝 6 時出発予定であったがキャンプ場の決まりで 7 時出発となる。毛無山登山口に至る道中右手に広大なキャンプ場が広がっていた。富士山が間近に見えるロケーションである。次回来ることがあれば是非ここでテント泊したいものだ。

ふもとっぱらの毛無山駐車場(駐車場代 500 円)を午前 7 時 45 分出発。当初コースは地蔵峠周回の予定であったが、登山路が一部崩落しているため山頂ピストンとなる。

歩き始めていきなり置き去りにされたと見まごう「麓金山金鉱石破碎機」と書かれた看板とともに錆付いた機械が目飛び込んでくる。そうか！この山では金鉱石が掘り出されていたのか？

青空の下、雑木林の坂を心地よく登ると駐車場より 40 分ほどで細く糸を引いたように流れている不動の滝に到着。うまく滝を写真の構図に入れる場所が限られているために交代での写真タイムとなる。再び坂をひたすら峠に向けて歩く。駐車場より 3 時間ほどで富士山展望台に来る。富士山が雄大な裾野を広げて青空にくっきりと浮き上がっていた。皆ここぞとばかりに交代で富士山をバックに記念撮影。哀愁を漂わせた？背中越しの写真も試みる。なかなか背中で人生？(自分)を表現するのはむずかしい。

峠付近に来ると木の根元にわずかばかりに溶けずに残っている雪が見られた。水たまりには氷が張っており案の定しっかり足で？踏みつけられて割られていた。私もご多分に漏れず割る感触を楽しんだ。これから行くであろう年末年始の雪山山行に期待が膨らんだ。

駐車場より 3 時間半ほどで毛無山山頂(三角点 1946m)に到着！

更に歩を進めて毛無山(最高点 1964m)、大見岳まで行く。毛無山最高点は、登山路より 2 m ほど高くなっているが気づかずに通りすぎてもおかしくないくらい目立たない。

そろそろお腹も空いてきたので毛無山最高点と三角点の間付近の富士山の展望が望める場所で昼食を取る。昼下がりのぽかぽか天気の中、風も強くなく腰を下ろして眼下に広がる絶景を従えて贅沢な食事のひとつときを楽しむ。登山で坂を上りながら足の筋肉が疲れてき

た頃には何で山に登るのだろうと思うときもしばしばであったが、今この一瞬はそのことさえも忘れさせてくれる。あったかいカップ麺を食べながらまったりとできるこの時間がいつまでも続いてくれたらと思う。締めにはコーヒーを飲み、そそくさとガスヘッドを片付け下山の準備を始める。やはりスタートはいつもの通り私が一番最後だ。またね毛無山！下山はあっという間で2時間ほどで駐車場にたどり着く。

先に着いたMさんより私の車がロックされていなかったとのこと。幸い私と同乗メンバー2名の持ち物は紛失した形跡はなく事なきを得た。

思い返すに、今朝駐車場出発の時に、私が一番準備に手間取り慌てていたためにロックするのを忘れていたようだった。山行ではいつもそうだが、体は機敏に動くも頭は常に冷静に心をかけねばと肝に銘じた次第である。

今回もMさん山行により富士山を間近で見られる行程を5名の仲間と共に楽しむことができた。また、次回宜しく願います。お疲れのMさんに感謝！